

## 新型コロナ ウイルス 感染症

# 共同生活の場である寮で 集団感染を防ぐポイント

学生寮は、感染拡大のリスクが高く、全国でも多くの集団感染が発生しています。集団感染を防ぐためには、日々の感染予防策の徹底とともに、「感染者の早期把握」、「迅速な感染拡大防止策実施すること」が重要です。あらかじめ「責任者は誰か」「予防の体制」「連絡体制」等、役割やルールを決め、組織的に取り組むことが、感染発生時の迅速な対応につながります。

### ①感染発生時の連絡・情報 共有体制の構築

- ☐陽性者（濃厚接触者）・体調不良者が発生した時の連絡体制が決まっていますか？
- ☐連絡体制は、入寮者に共有されていますか？

【チェック】連絡体制が不明確だと、学校としての状況把握が遅れ、組織的かつ迅速な対応ができない可能性があります。また、管理監督者が不在の場合などにも備え、学生間で連絡体制を共有しておくことも重要です。

### ②感染発生時の役割や対応 方針の明確化

- ☐陽性者が発生した時に、誰が何を対応するか決まっていますか？
- ☐事前に、陽性者発生時の対応方針を決めていますか？

【チェック】事前に役割分担を明確にしておくことが迅速な初期対応につながります。特に責任者を決めて、その人に情報を一元化することで、保健所とのやりとりを円滑に行うことができます。また、陽性者が出た際の対応方針・フローの整備・ハード面の備えを事前に検討しておく、集団感染を防ぐことに有効です。

### ③日々の健康管理の徹底

- ☐入寮者の日々の健康チェックを行っていますか？誰が行うか決めていますか？

【チェック】入寮者が自分の健康チェックを行っても、その情報を集約しないと、有症状者の把握が遅れてしまいます。健康管理担当者を決め、担当者に情報が集約される体制を整備すること、また、〇〇度以上の発熱は、教員へ報告」などのルール作りが重要です。

### ④相談体制の構築

- ☐入寮者が健康相談のできる窓口はありますか？

【チェック】入寮者が体調不良時に、誰に相談すればよいか分らないと、一人で抱え込み、病院受診や検査などの行動が遅れる可能性があり、早期に感染を把握することが難しくなります。

### ⑤最新の情報に基づく対策を

- ☐常に最新の情報を得て、適切な感染予防対策を行っていますか？

【チェック】管理監督者が、誤った感染予防対策や知識を提供してしまうと、適切な予防行動をとれなくなる恐れがあります。自治体や競技団体等の最新の情報を確認しましょう。

### ワクチン接種の検討を

感染や感染後の重症化を防ぐために、ワクチン接種を検討しましょう（2回接種済の方は、3回目以降のワクチン接種も検討しましょう）